

スリーハート

令和7年12月8日（月）発行

スリーハート標語配付

学校・家庭・地域の3つのハートをひとつにして心の豊かな子を育成しようと始まったスリーハート運動は、20年以上の歴史があります。今年度のスリーハート標語を募集したところ、児童、保護者の皆様から応募がありました。ご協力ありがとうございました。心温まる作品の中から選出された代表作品をラミネートし、6年生が地域に配付しました。今年度も駅、消防署、施設などに掲示していただきます。ご協力いただける地域の皆様に感謝です。



プロバスケット選手がやってきた！

11月27日プロバスケットのBリーグに所属するファイティングイーグルス名古屋から2人の選手が来校しました。須藤選手とマイロ選手が、登校時に挨拶活動、そして1時間目に夢授業を行ってくれました。選手の紹介動画、実際のパフォーマンスに子どもたちからのどよめきと拍手。選手と代表児童によるミニゲームでは、豪快なダンクシュートや華麗なドリブルなどに大歓声があがりました。最後に2人の選手からメッセージをもらいました。「夢や目標をかなえるまでには、うまくいかないこともあるけれど、好きなことに集中したり、気分転換したり、さらにどうしてここまでがんばってきたのか初心を思い出したりすると、乗り越えられる！」子どもたちは真剣に耳を傾け、心に響きました。当日の様子は中日新聞(11月28日)の尾張版にも掲載されました。



弁当の日（6年）

12月1日に6年生が自分でお弁当を作り、会食しました。あま市の小中学校で10年前から続く取組です。この日のために担任と栄養教諭による家庭科授業で計画を立て準備をしてきました。当日はアイデアあふれるすてきなお弁当が勢ぞろい。「自分で作るのは大変で、いつも作ってもらう家族に感謝したい」「これからは家族にも作ってみたい」などの感想がありました。保護者の皆様、ご協力とともに見守ってください、ありがとうございます。

